

科目名	国語	科目コード 001
-----	----	--------------

学年・学科等名	1 学年	全クラス	必修科目
単位数・開講期	4 単位	通年	
総時間数	120 時間		
担当教員	石本 裕之・倉持 しのぶ		

本校の教育目標	1	一般人文科の教育目標	1
---------	---	------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	
	教育プログラムの学習・教育目標	
	JABEE基準	

教科書名	『精選国語総合』(東京書籍)
補助教材	『精選国語総合学習課題ノート』(東京書籍)・『漢字の学習』(三省堂)・『高校国語へのブリッジ』(明治書院)・プリント
参考書	『カラー版新国語便覧』(第一学習社)・国語辞典・漢和辞典・古語辞典

A. 科目の教育目標

①近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。

B. 科目の概要

日本語で思考し、日本語で表現する者にとって、しかるべき国語の力をつけることは最も基本的且つ重要なことである。授業では、国語の学力向上を図って毎週定期的に演習の時間を設ける。(「授業内容」の「時間」覧に「+1~2」とあるのがその目安である。)学力の定着と、漢字検定試験3級以上(4年生までに2級)合格をめざそう。

C. 学習上の留意点

平常の授業に「きちんと取り組む」ということの内容を理解し、実行すること。

- ① 学習に有用な、しっかりしたノート作りを確実にし、理解力・表現力の伸長に心がける。
 - ▼はじめの授業にノート作り指導をする。以後、どの教材もその仕方で各自ノート作りを行うこと。
 - ▼現代文・古文・漢文それぞれ別個の、ノートを用いること。(ファイル式は不可。)
 - ▼古文は予習として、本文書写と活用語、特に助動詞の明示を怠らないこと。
 - ▼漢文は予習として、白文と書き下し文の記入を怠らないこと。
 - ▼現代文ノートでは特に、聞き取りながらメモする作業を重視すること。
- ② 辞書を引く予習復習を行って、漢字力・語彙力を養成し、日常的な学習習慣を身につける。
 - ▼教材程度のレベルの文章を自力で読み解くことができるようになることが肝心。
 - ▼予習習慣の身に付けが、学習習慣身に付けの基礎であることを忘れないように。
 - ▼「自分で調べ、読み、書く」ことが「勉強」であると、銘記すること。
- ③ 新聞を含め広く文章に親しみ、実際に読み書きすることを心がける。具体例としてコラム写書を行うことを推奨する。
 - ▼必要な能力を身に付けるために、国語が不得意と自分で思う者ほど取り組む必要がある。
 - ▼平常点に結びつくものであるから、国語が不得意と自分で思う者ほど取り組む必要がある。

D. 評価

試験(80%)、ノート・課題等平常点(20%)で評価する。自主課題・漢字検定結果を加味する。

